

## 学校教育目標

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

### 目指す学校像

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校  
(矢立笑活”校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

### 受け継がれる子ども像

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

### 目指すふるさとキャリア教育

矢立の人・もの・こととの関わりを広げて～「プラス1」で主体性を伸ばす～  
「矢立笑活”校PJ」 カッコいい大人との出会い・カッコいい大館での心震える体験

### 目指す授業

- ◇子どもたちが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果、学びの意義や価値を実感できる授業(自己肯定感と学ぶ意義)
- ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(教師のファシリテート)

### 重点事項

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式の学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)「プラス1」の活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携

いつでもどこでも一人でも！

「なぜだろう？」不思議発見  
ハテナ解決



【矢立っ子の合言葉】

自分のためにみんなのために！



【4月 5名の新入生を迎えての入学式】



【5月 体育館での運動会】



【6月 縫戸山への全校登山】



【7月 PTA学級部主催 親子レク  
(大館少年自然の家出前講座)】

ア 児童の 状況	自己評価 Aと外部 評価の評 価区分	きわめて良好	自己評価 Bの評価 基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

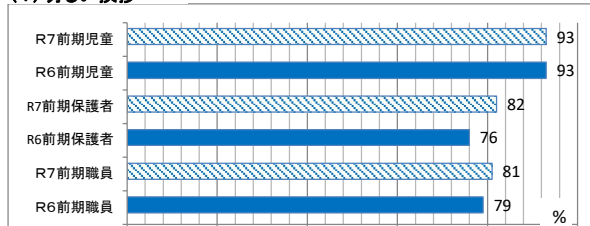
## I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごすという意欲と能力を高めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	あいさつのポイントを分かりやすく児童に伝えたり、声の大きさなど個人差をしっかりと捉えたりしながら取り組まれている。あいさつすることの意味や大切さを伝えながら、普段の声よりもはつらつとした、今の自分に「プラス1」したあいさつにつなげていってほしい。安全教育については、様々な取組をされている。引き続きお願いしたい。
	年度			
学 校 自 校 の 評 改 価 善 の 策 概 要 と	【前期(一年度)】 あいさつは、自分から自発的にできる子どもが多いが、個人差も見られる。あいさつ運動などの取組を通して、元気なあいさつを継続することを意識させていきたい。規則正しい生活については、メディアの利用による影響が大きいと考えられる。家庭との連携を図りながら、メディア利用に関するルールや目標を設定し、規則正しい生活ができるようにしたい。2学期にメディアコントロールについての学習会を行う予定である。安全面では、避難訓練や交通安全教室に関するこれまでの反省や助言をもとに、安全な環境づくりを行うとともに、子どもたちが正しい行動をとれるように指導していく。			
	【年度(一次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動	3	
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まるの時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	3	
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	4	

### 【1に関するデータ】

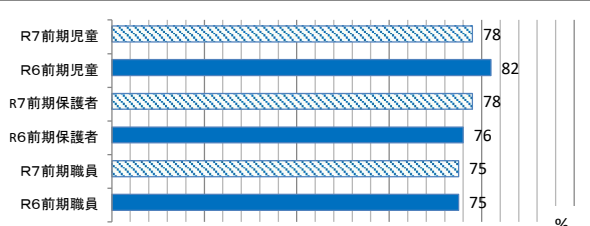
#### (1) 明るい挨拶



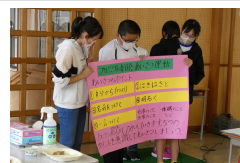
保護者アンケート記述より  
・あいさつはできていると思うが、明るさ、声の大きさがもっとほしい。

・挨拶について児童は「よく取り組んでいる」と捉えているが、保護者や職員は児童ほどよく取り組んでいるとは捉えていない。明るさ、声の大きさ、自発的という部分で個人差があるように思う。学校では、プロジェクト委員会の呼びかけであいさつ運動を行い、挨拶のレベルアップを試みている。合言葉と結びつけて、「いつでもどこでも一人でも」元気な挨拶ができるように呼びかけている。  
・規則正しい生活については、昨年度の学校保健委員会でも話題になったが、「早寝(睡眠時間)」が本校の課題だと捉えている。メディアコントロールの取組と合わせて、ONE ONEカードや児童会の取組等で児童に働きかけ、家庭の協力も得ながら進めていきたい。

#### (2) 規則正しい生活



保護者アンケート記述より  
・早寝については、家事等で就寝までの時間がかかり遅くなることが多い。



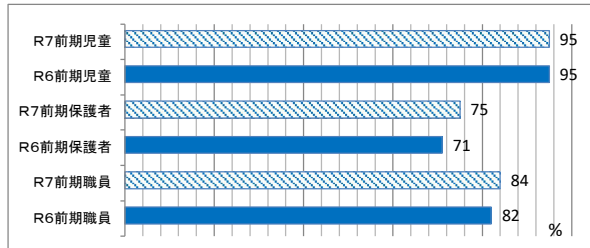
【あいさつのポイント  
(プロジェクト委員会)】



【あいさつ運動  
(民生児童委員・更生保護女性会)】

### 【2に関するデータ】

#### (3) 自分の役割に責任をもつ態度



・児童は学校の係・当番活動はよく頑張っているという捉えているが、家庭ではお手伝いや自分の役割については「もう少し」と評価している。  
・大館市で一斉に行っているメディアコントロール週間のカード(ONE ONEカード)に、本校独自にお手伝いの項目を設け、「メディアコントロールをして生まれた時間を使ってお手伝いをしよう!」という取組を行っているので、家庭にも協力を呼びかけていきたい。



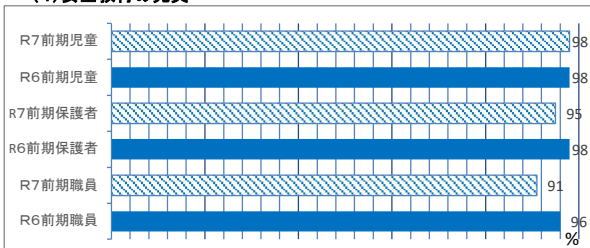
【高学年が1年生に  
掃除の仕方を指導】



【交通安全協会の協力による  
交通安全教室】

### 【3に関するデータ】

#### (4) 安全教育の充実



・安全教育に関してはいずれも高い評価を得た。これは日頃の保護者や地域の諸団体等のご協力のおかげだと思う。また、前年度までの反省や交通安全協会、警察の方々のご助言を生かしたり、近隣の保育所や公民館にも協力していただいたりして、交通安全教室や避難訓練を行っている。2学期の親子学習会では公民館に協力をお願いし「防災教室」を予定しており、親子で身近な防災について考える機会としたい。



【PTA登校指導】



## ア 児童の状況

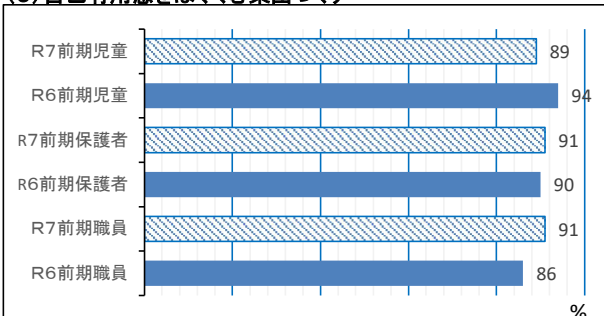
### Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	様々な取組をされており、児童の頑張りや先生方の指導が感じられた。評価は「おおむね良好」であるが、アンケートのデータやまとめからも限りなく「良好」に近い。いじめ・諸問題についても、対策や対応がしっかりと取られている。問題発生時には、先生方がチームとして対応してくれたというコメントもあった。引き続き、丁寧な指導をお願いしたい。
	年度			
校 自 己 改 善 評 価 策 の 概 要 と 学	【前期(→年度)】 自己有用感、自分で気付くことに加えて、他人から感謝されたり認められたりすることで高まることも多い。全校での「サンキューがんばりの木」の記入や学級での帰りの会などを通して、お互いのよさを認め合えるようにしていく。また、学校行事の際には「かっこいい矢立っカード」を活用して、めあてをもって活動し、その後振り返ることで自身の頑張りや成長を実感できるようにしたい。 いじめについては、日頃から子どもたちの様子を観察したり、教育相談やアンケートを実施したりして、未然防止と早期発見に努めていきたい。いじめを認知した際の対応も大切に、いじめゼロを目指すとともに、いじめ見逃しゼロを目指して対応していく。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いを認め合う学級づくり</li> <li>・縦割り活動の充実</li> <li>・学び合いを大切に授業</li> <li>・早期発見の体制づくり</li> <li>・いじめアンケート</li> <li>・教育相談の充実</li> <li>・家庭との連携</li> </ul>	3	
5 一人一人のよさの発揮	(7)達成感を味わえる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事</li> <li>・自分のよさに気付く場の設定</li> </ul>	4	

#### 【4に関するデータ】

##### (5)自己有用感をはぐむ集団づくり

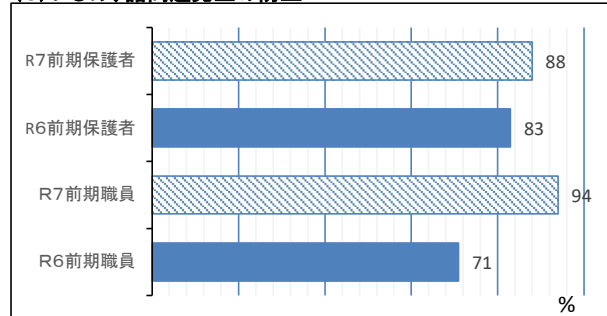


・児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」の数値が昨年度より下がった。「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的に答えた児童が数人いることから、今後も互いのよさを認め合える場を設定し、継続していきたい。職員もこれまで以上に一人一人のよさをほめ、認める場面を増やしていく。



【運動会練習(色別応援練習)】

##### (6)いじめ、諸問題発生防止



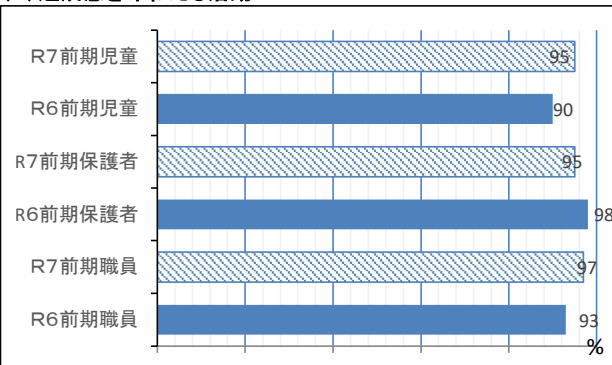
・保護者の皆様のお子さんを安心して学校に送り出したいという思いが数値に表れていると厳粛に受け止めている。児童が安心・安全に過ごせる体制づくりをし、問題やトラブルが発生しないように、相談活動を充実させたり、校内での見守りを強化したりするなどしている。また、年3回いじめ調査を実施、実態把握、相談の時間を設けて対応している。



【マラソントイムは先生方も一緒に】

#### 【5に関するデータ】

##### (7)達成感を味わえる活動



【4・5年自然教室  
(大館少年自然の家)】



【3・4年碓氷関小学校との交流学習】

・今年度取り入れている「かっこいい矢立っカード」には、行事等の活動の前に、自分が「プラス1」して取り組みたいことを記入し、活動後にそれを含めて振り返りをしている。めあてをもって活動に取り組んでいることで、それを達成できたときの充実感を味わえているようだ。

## ア 児童の状況

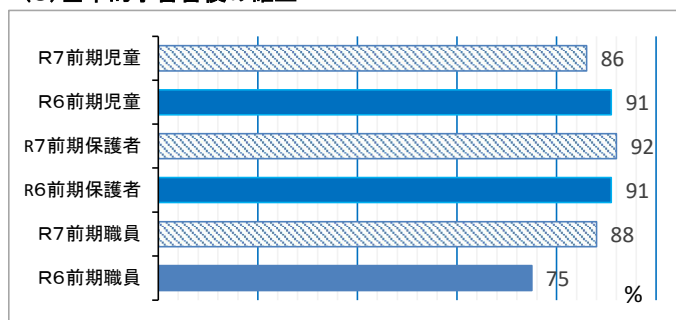
### Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	基礎学力について、児童の評価は前回に比べ下がっているようだが、先生方は児童の頑張りを認めている。一人一人の基礎的な学習を大切にし、「難しいけれど、やってみたらできた」を積み重ねてほしい。
	年度		
と自己 学 校 の 価 値 改 善 策 要	<p>【前期(→年度)】</p> <p>今年度は、「数学的な見方・考え方」を働かせ、学びの意義を実感できる授業づくりを重点に掲げている。算数を中心に、授業内で「プラス1タイム」を設定して学んだ力を活用・発揮できる力を育成している。そして、学びから得た資質・能力を実生活や新たな問いへとつなげるために「振り返りタイム」の充実を図り、児童が学習の意義を見出し、自己の学びを発展させる力を育てている。アンケート結果から、これらの力が少しずつ伸びてきていることが分かった。さらに高まるように共通実践事項である4つの柱(理解の深化、学び合いの充実、自己肯定感と学ぶ意義、教師のファシリテート)を充実させ主題の達成を目指す。</p> <p>【年度(→次年度)】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」 ・家庭読書の日の設定 ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・矢小タイムの充実	3	
6 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・ドリル等を活用した反復練習 ・教師の見取りの徹底 ・既習事項や資料、経験等を根拠にして説明する場の設定 ・各教科の見方・考え方を働かせて説明する姿が見える授業展開	3	

#### 【5に関するデータ】

##### (8) 基本的学習習慣の確立



・児童アンケート「忘れ物をせず、準備を整えて授業で学習した」の数値が下がり、特に「よい」は昨年度59%だったところが24%まで下がった。家に帰ってから、翌日の見通しをもって過ごすことはとても大切なので、低学年を中心に、もっと手と目をかけてほしいと保護者に働きかけている。

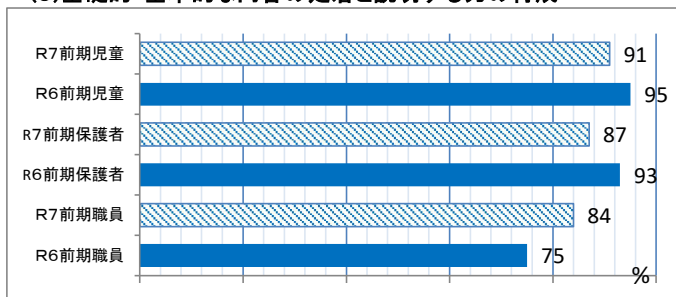
##### < 普段の授業の様子から >



【1年 道徳】

#### 【6に関するデータ】

##### (9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



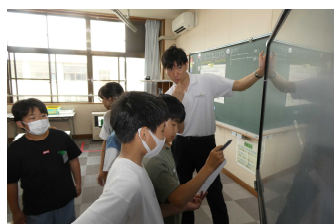
・今年度は、「確かな自分の考えをもち、進んで学び合う子どもの育成」という研究主題のもと、「基礎的・基本的な知識の定着」「伝え合う力の向上」「学び方の定着」を学びの土台として共通実践している。少人数の利点を生かし、児童が楽しく学びながら、しかも「分かった」「できた」と思える授業を創り上げていきたい。



【2・3年 算数】



【4年 算数 花岡小とのオンライン授業】



【5年 算数】



【6年 社会】



## ア 児童の状況

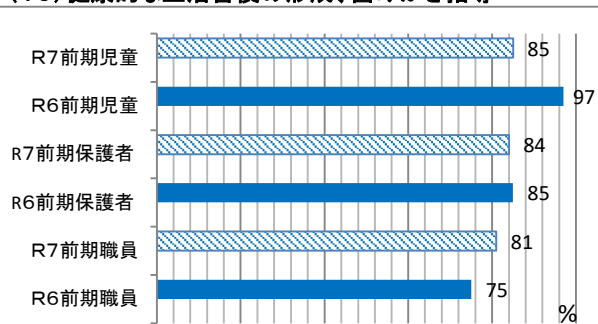
### Ⅳ 健康と体力

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	歯磨き指導やメディアコントロール等の取組により意識付けはできているが、休みの日の家庭での習慣付けが難しいようである。引き続き、家庭と連携を図りながら取り組んでほしい。体力の向上では、児童のヒアリングからも運動面での伸びしろを感じた。児童数が少なく、友達と競い合う経験が不足してしまうが、体力づくりの活動を充実させ、児童の健康と体力の向上に努めてほしい。
	年度			
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】 栄養教諭による「食に関する指導」を全学年へ実施したことで、少しでも好き嫌いせず食べる意識付けになったように感じる。歯みがき指導については、学校歯科医と連携を図りながら指導を継続していきたい。本校では、「早寝・早起き」が健康課題として明確になったため児童委員会と連携しながら「睡眠」に焦点を当てた指導を行う。また、外部講師による「メディアコントロール講習会」を2学期末に予定している。体力づくりについては、休み時間に体を動かして遊ぶ児童が多いため、引き続き安全管理に留意していきたい。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等ONEONEカードの活用 ・給食、歯磨き指導	3	
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進    ・外遊びの奨励    ・徒歩通学の推奨	3	

### 〔8に関するデータ〕

#### (10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



保護者アンケートの記述より  
・休日の昼は忘れがちです。

・1学期中に北給食センターの栄養教諭に食に関する指導をしていただいた。また、児童会のSDGsの取組として、毎月「ペロリウィーク」を実施している。個人差はあるが、4月当初より残食が減ってきた。「かっこいい矢立っ子」を目指して、苦手なものも一口でも食べようとする姿も見られる。この項目の児童の数値が下がったが、成長期にあるこの時期にしっかり栄養を摂ることの大切さを学び、努力している姿うかがえる。  
・歯みがきについては、6月に「親子歯磨きカード」を使って、保護者の協力を得ながら意識付けを図った。やはり、休日の昼の歯みがきは忘れがちで、高学年は昨年度より達成率が下がっていた。学校歯科医から高学年は丁寧に歯みがきを行うように助言があったので、指導を行っている。



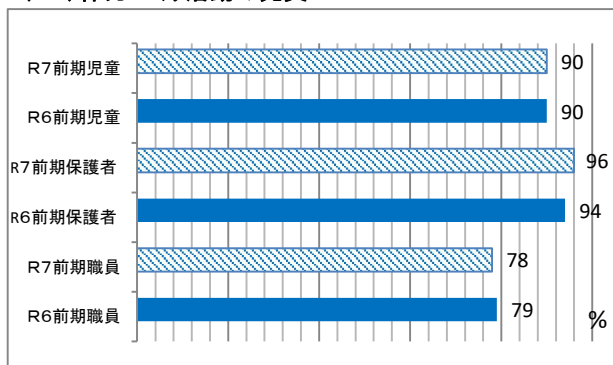
【北給食センター栄養教諭による食に関する指導】



【歯っぴーコイン集計  
(ヘルシースポーツ委員会)】

### 〔9に関するデータ〕

#### (11)体力づくり活動の充実



【体力テスト ハンドボール投げ】



【1年プールでの授業  
(矢立保育所との交流)】

・熱中症を予防しながら、週に1回中休みにマラソンを実施し体力の向上を目指した。体を動かして遊ぶのが好きな児童が多く、休み時間は体育館で一輪車に乗ったり、ボール遊びをしたりしている。体力テストの結果は、概ね良好であった。夏休み中のプール開放は、熱中症アラートが発令されたり、水質が悪化し水を入れ替えたりした関係で中止する日が多かったが、開放できた日には多くの利用者がおり、児童は楽しく水に慣れ親しんだ。

## イ 学校運営の状況

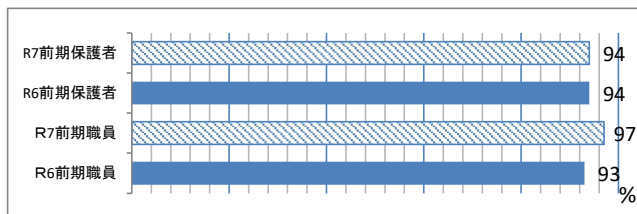
### V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	地域や保護者の方々の理解や協力を得ながら、活動が進められている。今後も継続して取り組んでほしい。
	年度			
学 自 校 己 の 評 改 価 善 の 策 の 概 要 と	<b>【前期(→年度)】</b> 今年度も保護者や地域の方々のご理解とご協力を得て、農園活動、交通安全教室、プール清掃、クラブ活動など、充実した活動を行うことができた。また、恵まれた立地を生かして保育所や公民館と連携した活動や交流も行うことができた。すべての活動は子どもたちの有用感を高め、ふるさとへの愛着につながっている。地域の方のお話からは、矢立小学校の子どもたちへの関心と期待の高さを感じられた。今後もさらに矢立の人・もの・こととの関わりを広げられるよう、地域と連携・協働しながら学校運営を進めるとともに、児童の元気と笑顔、活力を地域に届けていきたい。			
	<b>【年度(→次年度)】</b>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	
12 PTA、地域、他校との連携(交)	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材・施設の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校、保育所との交流学習	4	

#### 【10に関するデータ】

##### (12)経営方針や重点施策の明示



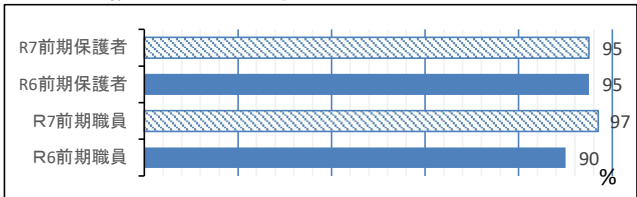
・保護者、職員とも高い数値である。児童には行事等のあいさつで、保護者や地域の皆様にはPTA、学校報等で、学校の目指す子ども像や合言葉について伝えられている。学校運営協議会やPTA等での意見を参考にしながら、「開かれた学校」「信頼される学校」を目指していきたい。



【2学期始業式 校長から】

#### 【11に関するデータ】

##### (13) 保護者・地域への情報発信



・保護者、職員とも高い数値である。4～6年生が交代で毎日書いているブログは、「矢立小から全世界に発信！」を合言葉に、見た人の目を引くような見出しを工夫して、学校の出来事を発信している。学校だよりや学級通信、保健だよりなどでは、子どもたちの様子だけでなく、学校経営や学級運営についてもできるだけ分かりやすく情報発信していきたい。また、引き続き報道機関も利用しながら、多方面に発信していきたい。

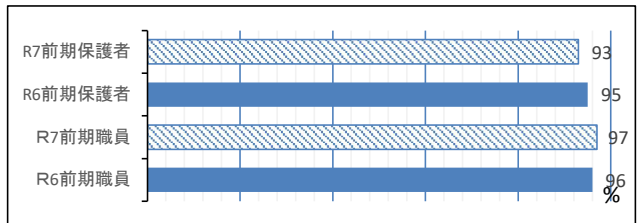
#### 【学校報「御膳水より」】

**矢立小学校の「ブログ」を引っ越しました！**  
 毎日4～6年生が交代で書いている矢立小のブログを引っ越ししました。右のQRコードを読み取ると、矢立小のホームページに入っていきます。そこからブログに入って読んでみてください。  
 ホームページでは、ブログの他、この学校報「御膳水」、学校紹介、矢立ふるさとカルタ、行事予定等を見ることができます。  
 ※学校紹介のページを開くと校歌が流れます！



#### 【12に関するデータ】

##### (14) PTA、地域、関係機関との連携



【地域の方々の協力を得て 左：書写指導 右：花壇・農園作業(お助け隊)】

・保護者・職員とも高い数値であり、保護者・地域の方々のご協力を得ながら教育活動を進めることができていることに、感謝している。また、花岡小、釈迦内小、北陽中、矢立保育所とも継続的に交流を続けており、効果を上げている。「子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校(矢立笑活校)」を目指して「プラス1」し、児童の主体的な活動を取り入れながら矢立の人・もの・こととの関わりを広げていきたい。